



令和6年6月26日(水)

学校教育目標 **なかよく がまん強く たのしく**

第7号 文責：校長 真崎 哲也

諫早市立長田小学校
859-0312
諫早市西里町800番地

電話
23-9010(職員室)
24-8267(校長室)
23-9059(FAX)

電子メール
e-nagata@isahaya-
snet.ed.jp

Web サイト
<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-nagata/>



ホームページには、毎日の子どもの様子や学校からのお知らせ、各種便り等を掲載しています。ぜひ活用ください。

〈6月の生活目標〉

衛生に気を付けて、安全に過ごそう。

雨の日の遊び方を工夫しよう

ミニ美術館
子ども達の図工作品紹介です。

〈3年生:「生まれかわったなかまたち」材料を工夫し、素材の特徴を活かした素敵な作品ができていました。



3年 松尾颯治郎



3年 白田 芽生

長田っ子の心を見つめる教育週間 その①

例年よりずいぶん遅い梅雨入りが発表されました。これからしばらくはジメジメとした、雨の多い日々が続きます。気分も重苦しく、体調も崩しがちになりますが、元気と笑顔を絶やさずしっかりと乗り切っていきたいと思います。また、登下校時に大雨が降る可能性も高くなるこの時期です。緊急時のお子様の送迎対応について、安心メール等にて、急な連絡を行う場合もあるかもしれませんが、その際にはご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今週は、「長田っ子の心を見つめる教育週間」として、子ども達の学ぶ姿や教育活動の様子を、保護者や地域の皆様に参観をしていただきたく学校を開放しています。本教育週間は、県内で幼い命が絶たれる事件が相次いだことを受けて、平成16年より県下全ての公立学校で実施され、学校と保護者及び地域の住民が連携し、「地域の子どもは地域で育む」という気運のもとに、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目指しています。本校におきましても、育友会の皆様を始め、地域や関係団体の皆様のご協力とご支援のもとに様々な取組を行います。命や心を見つめる学習を充実させることが勿論のこと、改めて、「一人ひとりを大切にする教育活動を行っているのか」という視点のもとに教育活動を振り返りたいと考えます。ご家庭におかれましても自分の命や他の命を大切にするなどについて、語り合う時間をもっていただけましたら幸いです。事前に配付しております案内や時間割をご覧ください、たくさんの皆様に、また何度でもご参観いただきますようお願いいたします。なお、**28日(金)は、道徳の授業参観後に、懇談会**を実施いたします。年間を通して、授業参観後に懇談会を位置付けておりますが、**懇談会の参加者が大変少ない状況です。短い時間ではありますが、担任と保護者、保護者と保護者が意見を交わしたり、悩み等を共有したりする絶好の機会であると思います。**今回は各担任で、懇談テーマを設けるなど趣向を凝らしております。お忙しい中とは存じますが5分でも参加をいただき、それぞれの距離感を詰めていただく有意義な機会になることを願っております。

◇「校長による命の講話」から～いろいろな命～

教育週間初日の昨日24日(月)に、校長からのメッセージとして、以下のことを子ども達に伝えました。(抜粋です)

～命ってなんですか？それは「生きていること」ということです。逆に命がなくなるとは「死んでしまうこと」ということです。みなさんの周りには、たくさんの命があります。世界は命で作られているっていいのかもしれない。人は、大きな病気やけがをしなければおよそ80年から90年生きていることができます。犬や猫は15年くらい、昆虫は1年くらいです。生きていられる時間は生き物によって様々です。一つ質問をします。生き物によって生きている時間が違うように、命の大切さも生き物によって違うと思いますか？

正直に教えてください。命の大切さは、全て同じだと思う人？いや違うと思う人？・・・(2名に聞きました)

私たちは人間です。だから、人間の命が一番大切って思うのは当たり前のことかもしれませんが、昆虫が苦手だったりする人は、見たくもないって思う人もいるかもしれませんね。でも、校長先生はこう思うんです。体が大きくて、長生きする、人などのような命も、小さくて、長生きできない虫などのような命も、その命は世界に一つしかないです。死んでしまえばもう二度とその命に出会うことはできません。どんな生き物にも、お父さんやお母さんがいて、生まれた時には「生まれてきてくれて、ありがとう」って言ってもらえたんじゃないかなと思うんです。

3年生のみなさんが、理科の学習でモンシロチョウの卵を観察しています。虫かごの中で、さなぎが大人のチョウになった様子を見て、「先生、チョウになったよ」って喜んでいて姿に校長先生は、とても感動しました。

裏面へ



【トピック】

2年生芋苗体験

24日(月)、2年生が芋苗の植え付けを行いました。白浜町にお住まいの岩松様より芋苗をいただき、当日は植え付けの仕方も教えてもらいました。遊具広場の畑に植えています。収穫が楽しみです！



飼育小屋の前にあるウサギのお墓に、両手を合わせてお参りしてくれている友達がいま
す。お墓に、お花を摘んで供えてくれている友達もいます。やさしいなって、心があたたか
くなります。

校長先生のお父さんとお母さんは二人とも、病気をして入院をしています。お見舞いにい
ってもなかなかお話ができません。2人の顔を見ながら、これまで育ててくれてありがとう
って、感謝も気持ちでいっぱいになります。1日でも長生きしてほしいと思います。

吉本先生のお腹の中には、赤ちゃんがいます。お腹の中でみなさんの元気な声を聞きなが
ら、早く生まれてきたいって思っていることでしょうね。

命を大切に、感謝して、輝かせていきていくのは自分自身ですが、周りにあるすべての
命も大切に、守っていく心で、それ以上に大切だと校長先生は思います。もしそう
なれば、この世の中はもっと楽しく、明るく、けんかや戦争のない素晴らしい世界になると
思います。～

「命」を捉えるって、とても難しいことですが子ども達は真剣に聞いてくれました。

6年生福祉・介護を学ぶ

～車椅子、アイマスク体験～



25日(火)、6年生が、総合的な学習
時間のテーマの一つである「福祉」の学習
を行いました。例年「ゆたか荘」の皆様との交流を通して、福祉への理
解を深めています。今年度はその取り掛かりとして、
ゆたか荘のスタッフの皆様のご指導とご協力のもと、
車椅子・アイマスク体験を行いました。ペアを作り、
車いすに乗る人と介助する人、アイマスクを付ける人
と介助をする人を体験しました。

子ども達はどんなことを感じたのでしょうか？見えない恐さや不安、車
椅子に乗ることで改めて感じるバリアフリーの必要さなど、みんなにとっ
て便利であり、安心で安全な世の中であることへの願いをもち、これから
取り組む「福祉」への学習への関心を高めてくれたら嬉しいですね。



5年生宿泊体験学習

～自然体験や宿泊を通して、規律や人との関わりを学ぶ～



20日(木)～21日(金)
に5年生が、国立諫早青少年自
然の家にて、1泊2日の宿泊体験
学習に行ってきました。あいにくの雨となり、当初予定をして
いた野外でのオリエンテーリン
グやナイトハイクなどを中止して、室内オリエンテーリングや焼き板作り等に切り替え、体
験活動を行いました。

雨の日は雨の日の楽しみを考え、子ども達はしっかりと切り

替えて活動を行いました。2

日目の野外炊飯では、カレー

づくりに挑戦しましたが、湿

気のため、まきがなかなか焚

きつかず、悪戦苦闘をしてい

ました。そんな中で完成したカレーの味は最高だったこと

でしょう。2日間の集団生活を通して、仲間と協力すること、

ルールを守ること、自分のわがままをがまんすること

・・・たくさんを学んだことと思います。学校の

リーダーとしての力をまた一つ高めた子ども達でした。

